

令和6年度 児童朝会（講話95）

令和7年2月17日 【学ぶ】

おはようございます。

では今週のお題。もし次に「ヒトトイロ」をするときに、どんなお題がいいですか？アイデアを思い付いた人はいつものようにお願いします。

では、まずは漢字のクイズからです。全部1年生で習う漢字ですから、1年生の皆さんも、がんばってくださいね。では1問目。これは何て言う漢字の元の文字でしょうか？そう山ですね。ではこれは、どうでしょう？少し難しいですよ。ヒントは「今日」です。今日は月曜日です。そう月の元の文字です。次はこの字です。だいぶ難しいですね。これは「音」という漢字の元の文字です。では次、これが今日の本番です。何という漢字の元でしょうか？少し周りの人と聞き合ってみてください。そう学ぶという文字ですね。と



はいっても、皆さんはこの旧字体ではなく、学ぶの新字体で覚えていると思います。さて、今日のテーマであるこの「学ぶ」っていったいなんでしょう？少し周りの人と聞き合ってみてください。難しいときは、言い換えを考えてみてもいいですよ。勉強する、学習する、覚える、教わるどれも正解です。が、一番大切なことを忘れていてのではない

でしょうか？

学校って、何をするところですか？そう、学ぶところですね。でもその一番大切なことがわかっていないので、「勉強っていややなあ」とか「次は算数か、めんどくさっ」と学びを誤解している人が多いように思います。

学ぶってもっと簡単に考えたらいいと思います。実は、旧字体の學がそのことを教えてくれています。先ほどお見せした、學の元の文字ってどんな意味があると思いますか？少し周りの人と聞き合ってみてください。

そうですね。ここに子どもがいて、この屋根は学校でしょうか。では上から伸びているこの腕は誰のものかな？「先生！」そうですね。先生が学校にいる子どもの何かを引き出そうとしている絵に見えますね。一体なにを引き出そうとしているのでしょうか。

それはみなさんの「才能」なのです。才能は能力とも言えます。絵を描く能力、スポーツする能力、料理をする能力、ものをつくる能力、漢字の能力、計算能力などなどがあります。ひょっとしたらぼくにはそんな才能、能力はないよと考える人もいるかもしれません。

才能や能力の無い人は決していません。そうではなく、それらは無いのではなく、皆さんの心や頭の中に眠っているだけです。ではどうしたらそれらの才能を引き出せるのか。旧字体の學が教えてくれます。子どもがいまし

て、この屋根は学校を意味します。登校して、そしてこの両腕は先生でしたね。そう、先生の話をよく聞くのです。するとみなさんの中に眠っていた才能がでてきます。さらに、この屋根の上の×印は何を意味していると思いますか？少し周りの人と聞き合ってみてください。

そう、この×印は、いままさに皆さんが行っていること。聞き合い、話し合いを、×は人と人が交わっていることを示しています。つまり、学ぶというのは、皆さん子どもが登校して、先生話を聞いて、友だちと聞き合いをするということなのです。

今週金曜日、みなさんのこの学びを見に全国からたくさんの方が見に来られます。中には元東京大学の先生の佐藤学先生も見に来られます。佐藤学先生は、世界的にも有名で、教科書の編集もされていた方です。

みなさんも、緊張するとは思いますが、できるだけいつも通りがんばってください。

今週は、この学びっていったいなんだろう？ということをお題とします。あるいは、この学びの元のイラストを見て、みなさんはどう考えたかを押してください。

今日も最後まで聞いていただき、ありがとうございました。